

2026 年 1 月 31 日

Loop Japan 合同会社

統合報告書(2023～25 年度)

❖ 事業概要

- Loop はリユース容器を活用した循環型ショッピングプラットフォームとして、消費者向け(BtoC)および事業者向け(Loop Professional)双方のモデルを日本市場で展開した。特に事業者向け領域では、小規模パイロットから商用化を見据えた検証を進め、循環型ビジネスの実装可能性を探った。しかしながら、日本国内における法制度整備の遅れや市場環境の成熟不足を背景に、2025 年をもって日本での事業終了を決定した。

❖ 実施内容:

- 2023 年度
 - Askul と連携し「Loop Professional」の小規模パイロットテストを継続
 - 専用サイト開設、法人ユーザーへの提供開始
 - ハンドソープ・消毒用アルコールなど 10L 容器の商品を展開
 - また、200ml リターナブル瓶のミネラルウォーターを限定ユーザー向けにパイロット運用し、ブランド連携による商品開発にも着手した。
- 2024 年度
 - 消費者向け Loop に新規ブランドが 2SKU 参加
 - Loop Professional では大学なども新規ユーザーとして加入
 - サーキュラーエコノミーへの関心の高まりにより潜在顧客は増加
 - 一方で、商品点数の少なさや容量の大きさが障壁となり、大幅な利用拡大には至らなかった。
 - 同年度中に、日本市場からの撤退方針を決定し、店頭告知やサービス終了に向けた準備を開始した。
- 2025 年度
 - 2025 年 2 月:店頭告知開始
 - 2025 年 5 月 24 日:イオンでの販売終了
 - 2025 年 6 月 30 日:空き容器の回収終了
 - デPOSIT返金は 2030 年 2 月 28 日まで継続予定
 - Loop Professional についても同時期に終了した。

❖ 成果

- リユースモデルの実証
 - BtoB 領域では高い回収率を確認し、循環型モデルの実現可能性を示した。
 - ブランド企業や自治体など、多様な法人ユーザーとの接点を構築した。
- パートナーシップの形成
 - Askul を中心としたリテール連携を実現。
 - 商品開発や物流スキームの検証を通じ、実装に向けた知見を蓄積した。
- 市場の関心醸成
 - 国内でもサーキュラーエコノミーへの興味を持つ企業が増加し、市場の萌芽を確認できた。

❖ 課題

- Loop が継続しているフランスでは 2020 年に循環経済法が制定され、リユース活用への大きな後押しとなっている。国際プラスチック条約の合意に期待するところもあったが、現在までに締結されておらず、リユースの後押しとなるかが不透明で、リユース事業が追い風を受けられる状況にないため

❖ 総括

- 2023 年から 2025 年にかけて、Loop は日本市場においてリユース容器を基盤とした循環型ビジネスの実証を行い、一定の成果と知見を蓄積した。一方で、制度・市場・オペレーションの各側面における構造的課題により、持続的な事業成長を見込むことが困難と判断し、日本での展開を終了するに至った。本取り組みで得られた経験は、今後の循環型ビジネスの設計や制度検討において重要な示唆を与えるものであり、将来的なリユース普及に向けた基盤的知見として活用されることが期待される。

以上